

まはりの時題
山海里

上野古典立華伝承展

自然の山水美を凝縮

2月19日、20日の両日、南条文化会館で、上野区に約150年前から受け継がれる町指定無形文化財「上野古典立華」の伝承展が開かれ、町内外から訪れた大勢の人が、山水の美しさを表現した立華を觀賞しました。

今年は大雪で材料集めに苦労したとのことでしたが、上野華道奨励会の会員14人が昨年よりも多い18点を制作展示。木の幹に枝を接ぎ木し、水仙や菊、アイリスなどをあしらった、山、川、海など自然の趣を凝縮した見事な作品に、来場者は見入っていました。



長寿をお祝い

100歳おめでとうおめでとう

2月25日、岩本ますさん(甲斐城)が100歳の誕生日を迎え、川野町長がお祝い金贈呈と慰問に訪れました。岩本さんは明治44年2月25日生まれ。川野町長から「おめでとうございませう。お元氣そつで何よりです」と話しかけられると、「ありがとうございます。これも皆さんのおかげといつも感謝しています」と顔をほころばせました。また、特に病気をすることも無く、自分で洗濯などもするそつで、家族との食事の時間が一番の楽しみだといっています。

岩本さんに加え、町内の100歳以上の方は7人になりました。



素盞鳴神社 神田祭

自然の恵みに感謝して

3月11日、上別所集落センターで、五穀豊穡や無病息災を願う素盞鳴神社の神田祭が行われました。

この神田祭は、江戸時代の後期ごろ、神社の所有田で取れたお米をみんなで分かち合つて食べたのが始まりといわれ、「もつそつ」と呼ばれる高さ15cmほどの円柱の型と御神体掛け軸、おすずを当番に引き渡しながら受け継がれている行事。油揚げとニンジンを加えて炊き込んだご飯をもつそつを使い重箱に盛るのが特徴で、参加者らは、高々と盛られたご飯を味わいながら、自然の恵みに感謝していました。



南越前町まちづくり大会

地域に密着した活動で活力あるまちに

3月13日、南条文化会館で、第6回南越前町まちづくり大会が開かれました。この大会は、豊かなふるさとづくりを学び、より一層まちづくり活動を発展させていこうと開かれ、約300人が参加しました。

まちづくり実践発表では、南条地区のいしうすの会と今庄地区の今庄旅籠塾が、地域の活性化を図るための取り組みや地元で密着した活動を発表しました。また、江戸く昭和初期にかけて地域行政財政の中心を担った大谷区の宮川・向山に残る古文書2万点以上について、約10年をかけて進められていた調査の報告会も行われ、参加者の関心を集めました。

